

どんぐりの実も茶色になり秋の深まりを感じます。小さい秋を見つけたり、自然物を使って遊んだり子ども達の楽しそうな声が秋の空に響いています。うがい手洗いをこまめにし、これからやってくる寒い冬を元気に乗り切っていきたいと思います。

素敵な先生紹介 No. 32 福知美和 園長先生

滋賀の大津市民病院あゆっこ保育所は、徒歩20分の所に日本最大の湖 琵琶湖があります。今回はそんな自然豊かな環境の中で日々11名のお子様にも囲まれて、のびのびと働く福知先生をご紹介します。

職員の皆さんに「福知さんはどんな人？」と聞いたところ「よく食べ、よく飲み、よく笑い、声がでかい(寝ている子どもも起きてしまいそう)、面白いダンスをたくさん知っている、知識が豊富、そして、いつも明るく太陽です」という答えが返ってきました。

福知先生のモットーは「今、何に興味をもっているかな?」「これで何かできないかな?」とお子様の様子や環境を見ながら常に探究心を持ち、先生達と協力し実践していくことだそうです。

「あゆっこ大好き!」と子どもたちや仲間の先生に言ってもらえるよう今日も福知先生は笑顔と大きな声で頑張っています。



食べることは楽しいなと思える子に ～ACCマミーナ仙川の食育を紹介～

食べることは生きることの基本。

ACCマミーナ仙川では“食べるのが楽しくて嬉しいと思える子に”をテーマに、栄養士の先生と協力して離乳食や給食の試食会、クッキング保育など行っています。

インゲンの筋取りやとうもろこしの皮むきなど簡単なお手伝いから始まった食育活動も、今では子どもたちが真剣に取り組む姿が見られるようになってきました。

写真はハロウィンでのかぼちゃケーキ作りの場面です。実物のかぼちゃに「わあ～重い」「かたいね」と大喜びした後は、スポンジの型抜きや模様作りをし、立派なケーキが完成しました。



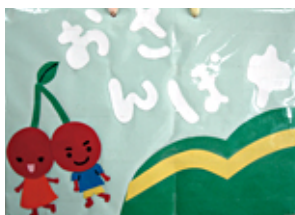
新 保 育 室 紹 介

社会保険桜ヶ丘総合病院
さくらんぼ保育園

10月1日、Jリーグ・清水エスパルスの本拠地として有名な静岡県清水に「社会保険桜ヶ丘総合病院さくらんぼ保育園」がオープンしました。さくらんぼの名前のとおり、壁面はたくさんのさくらんぼで大賑わい。そして写真にもあるように、ここのさくらんぼは“ニコニコ笑顔”でくっついていきます。

現在は3名のお子様に合わせておもちゃ作りにこだわろうと考へ、手ははじめに赤ちゃん用の昇り降りの練習に使える踏み台を作りました。温かみある手作りのよさをお子様に楽しんでもらい、それを見た保護者様、病院様にも「楽しい場所」と感じてもらえる保育園にしていきたいと思っています。

夢はさくらんぼのように“園に来たら(くっいたら)笑顔になる”そんなあったかい保育園を作っていくことです。



くっついたら笑顔になったよ!



ベビーシッター研修 ～お子様が安全に安心して過ごせるために～

10月27日東京本社にて、19名のベビーシッターの皆さんが集まって研修を受けました。年に2回開催されているベビーシッター研修ですが、今回は『集団託児における安全性』を目標に行われました。

研修の内容は“お子様が安心する言葉掛けのポイント”や“安全を意識するためには、どのような点に気をつけなければいけないのか”をボードに書き込みながら具体的に学びました。

研修を受けた皆さんからは、「自分自身ではわかっている、理解しているつもりでも研修において再確認出来てよかった」といった感想や「今後は資格取得に向けた講習会なども実施して欲しい」などの要望もありました。

最後は茶話会が開かれ、久しぶりに出会った仲間達と大いに盛り上がりを見せました。

